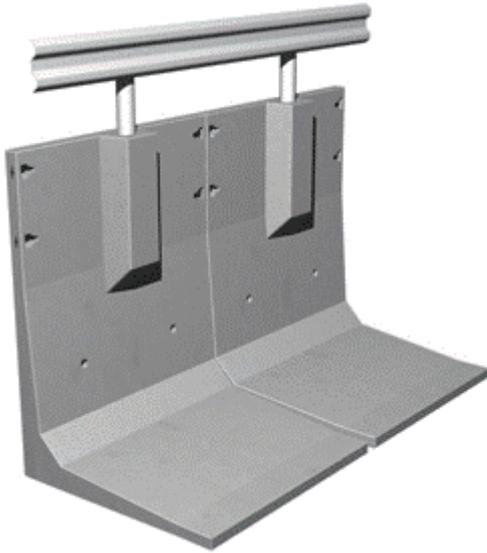


SL-GG ガードレール基礎付擁壁

群馬県

「防護柵の設置基準・同解説」に準拠し規格化した、車両用防護柵基礎が一体となった道路用L型擁壁です。



L型擁壁と車両用防護柵基礎を一体化

コスト削減

工期短縮

道路幅員を
最大限に確保

(ガードレール B,C 種対応)
平成 24 年度版 道路土工擁壁工指針準拠製品

■カイエー共和の勾配付き擁壁の効果

- ・オリジナルの型枠にて製造した天端勾配は、**後加工した製品とは違い非常に品質に優れています。**
- ・道路計画に合わせた**精度の良い勾配製品の供給**が可能のため、施工性の向上に繋がります。
- ・工場生産による勾配付製品のため、**現場での加工の手間が減り**工期短縮が実現します。

歩行者やドライバーに安全安心の道路空間

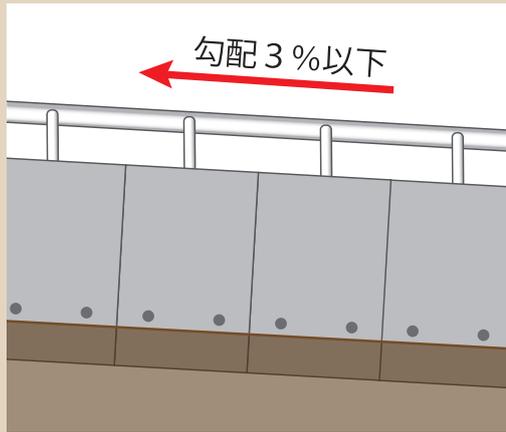
ガードレール基礎と
L型擁壁が一体化していると
自動車が衝突しても負けません！

押し返す

衝突荷重を考慮し、
**ガードレール基礎部分の天端が
連続しているため、**
衝突した車を車道へ押し返してくれます！

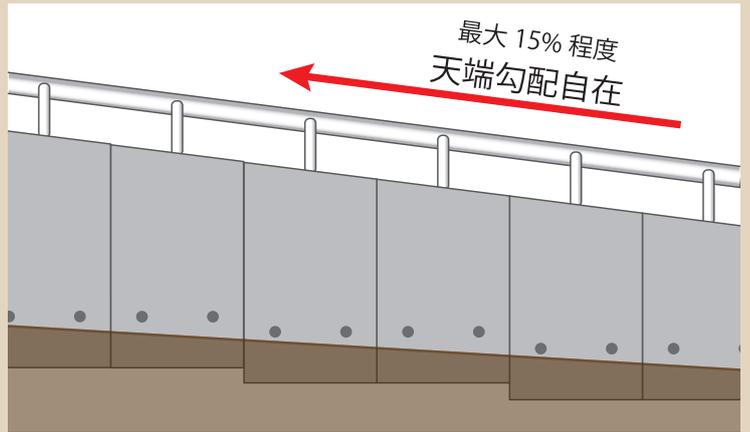
■ 縦断勾配対応

水平基礎の場合や、縦断勾配 3% 以上には、擁壁天端が道路勾配に追従する勾配擁壁が有効です！！



■ 天端フラットタイプ

群馬県技術基準「縦断勾配 3% 以下」の範囲内の場合、**製品自体を傾けて、縦断勾配に沿って設置**できます。支柱も鉛直に設置可能です。



■ 天端勾配タイプ

15% 程度の道路縦断勾配でも、天端勾配タイプなので**水平基礎を保ち、製品を傾けることなく設置**できます。型枠調整により天端勾配 0 ~ 15% 程度が可能です。H=1000 ~ 4000mm まで 100mm ピッチの規格です。

群馬県技術基準が改定され（平成 31 年 3 月 1 日適用）群馬県土木工事図集において、「擁壁基礎に勾配がある（段差となる）場合の基礎勾配・段差の考え方」が新たに追加されました。プレキャスト擁壁においては、**「擁壁基礎は水平を基本とするが、縦断勾配を付ける際には $i=3\%$ を上限とする。」**と明示されました。



＜高崎渋川線バイパス＞

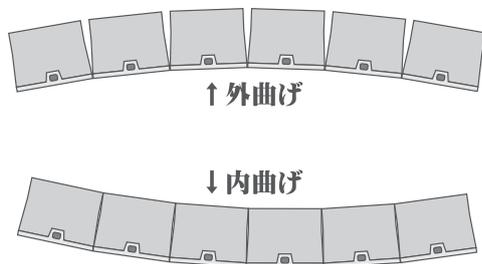
一段上がった車道側の勾配に合わせて天端勾配タイプを使用した SL-GG。



水平基礎にて施工できるので、群馬県技術基準を守りつつ簡単に勾配を付ける事が可能です。

■ 曲線対応

標準製品での平面線形対応は、最小半径 R=20m 程度まで可能です。



その他の R 対応についてはご相談下さい。

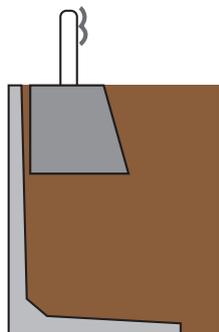


内曲げ R 施工高さ (H) により対応可 R が変わります。

■ 車両用防護柵

ガードレールの施工が、従来工法に比べ、用地幅が狭くても対応可能になりました！

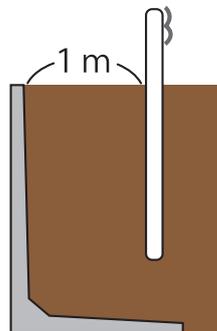
↓ 従来の施工方法 ↓



■ 独立型基礎

L型擁壁の背面に、独立型ガードレール基礎を設け、その基礎にガードレール支柱を設置する。

独立基礎部分を
現場打ちするので
工期が長引き
大変！

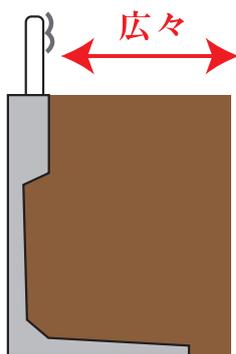


■ 土中設置

衝突加重に抵抗するのに必要な土量を確保するため、L型擁壁のたて壁背面から1.0m程度離してガードレール支柱を設置する。

ガードレール支柱を
深く設置するのが
大変！

↓ 一体型の施工方法 ↓



■ SL-GG ガードレール基礎付き擁壁

擁壁にガードレール基礎がついているため、その分の用地幅が少なくて済みます！

ガードレール基礎が一体だから
施工が楽で工期を
短縮できます！



▲アスファルト面を少し下げる事によって、水の流れ落ちをブロックする事も出来ます。



▲ガードレールを設置する基礎がすでにあるので、埋め戻すだけの簡単施工！

■SL-GG 天端フラットタイプ ※天端勾配タイプもございます。

ガードレール基礎付L型擁壁 (SL-GG)						SL-GG 構造図
名称	高さ H	底版長 B	製品長 L	参考重量 kgf	連結長	
SL-GG H1000	1000	1100	2000	1,510	8m	
SL-GG H1100	1100	1200	2000	1,650		
SL-GG H1200	1200	1200	2000	1,730		
SL-GG H1250	1250	1200	2000	1,770		
SL-GG H1300	1300	1300	2000	1,870	6m	
SL-GG H1400	1400	1300	2000	1,950		
SL-GG H1500	1500	1300	2000	2,030		
SL-GG H1600	1600	1450	2000	2,210		
SL-GG H1700	1700	1450	2000	2,290		
SL-GG H1750	1750	1450	2000	2,325		
SL-GG H1800	1800	1550	2000	2,430		
SL-GG H1900	1900	1550	2000	2,510		
SL-GG H2000	2000	1550	2000	2,585	4m	
SL-GG H2100	2100	1700	2000	3,240		
SL-GG H2200	2200	1700	2000	3,320		
SL-GG H2250	2250	1700	2000	3,360		
SL-GG H2300	2300	1800	2000	3,470		
SL-GG H2400	2400	1800	2000	3,550		
SL-GG H2500	2500	1800	2000	3,625		
SL-GG H2600	2600	2000	2000	3,840		
SL-GG H2700	2700	2000	2000	3,920		
SL-GG H2750	2750	2000	2000	3,955		
SL-GG H2800	2800	2100	2000	4,070	2m	
SL-GG H2900	2900	2100	2000	4,150		
SL-GG H3000	3000	2100	2000	4,225		
SL-GG H3100	3100	2300	2000	5,340		
SL-GG H3200	3200	2300	2000	5,420		
SL-GG H3250	3250	2300	2000	5,455		
SL-GG H3300	3300	2450	2000	5,620		
SL-GG H3400	3400	2450	2000	5,700		
SL-GG H3500	3500	2450	2000	5,775		
SL-GG H3600	3600	2600	2000	5,980		
SL-GG H3700	3700	2600	2000	6,060		
SL-GG H3750	3750	2600	2000	6,095		
SL-GG H3800	3800	2700	2000	6,220		
SL-GG H3900	3900	2700	2000	6,300		
SL-GG H4000	4000	2700	2000	6,375		

※設条件・連結長さにより底版長が変わる場合もございます。



カイエー共和コンクリート株式会社

【群馬支店】

〒371-0017 群馬県前橋市日吉町3丁目-31-4

担当：

携帯：

TEL: 027-225-2380 FAX: 027-225-2381